

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
サンクス運動療育クラブ		R7年 2月 17日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	80%	20%	グループ分けを行い、大きい子たちの場所を広くとることや、決められた範囲でできる楽しいメニューを工夫しています。	年齢の大きい利用者が多い日はスペースが足りないことがあります。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	現場スタッフが離れる場合は必ず別のスタッフが入り、配置数を適切であるようにしています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	ムダな物を置かず、室内をシンプルなレイアウトにしています。	事業所が二階にあり、階段があるため、利用者（保護者）の状況に応じて、一階で引継ぎや共有を行います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	利用者と状況に合った遊び方を確認しています。療育時間前後に掃除、換気、消毒を行っています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	相談室を活用し、個別対応を行っています。	プールはスペースが限られるので、その時にできる対応を予めシチュエーションしておきます。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	ミーティングで共有しています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	モニタリングや、送迎時などの時間に把握する時間を設けています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	療育後にミーティングを行い、反省、改善について共有しています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	相談支援事業所等から事業所の評価についてフィードバックを頂いています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	定期的に行っています。	
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	すぐ確認できるよう管理されています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	モニタリングを用紙に書き込む形にし、子どもにも感想や思いを記入して頂いています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	支援についての会議を必ず行っています。その際にはご本人支援に関わる全ての支援者の意見を共有しています。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	支援計画をいつでも見られるようにしています。休日のスタッフにも共有できるよう伝達をきちんと行っています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	療育後のミーティング後に記録に残すようにしています。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	過度にならないように利用者、保護者に確認をいただき、その時に言われた要望があれば組み込むようにしています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	記録を見返し、会議などで話し合っています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	様々な分野から着想を得て、ステップアップできるように設定しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	苦手なことも、スモールステップで取り組んでいます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	活動内容について説明や保護者からの連絡を確認、共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	改善点、ヒヤリハットがなかったか話し合っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	次回はどうしていくか、話し合うことで同じミスを繰り返さないようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	送迎時や電話、アプリで保護者と連携をとり、伺った情報を共有し、見直しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	80%	20%		地域交流の機会の提供については検討が必要と考えています。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	自由時間の設定や、子どもたちでの話し合いをする機会を設けています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	会議前に資料や記録を確認しやすいようにしています。	特定の担当者ばかりになっているので他にも対応できる職員を育成する必要があります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	必要に応じて、保護者の許可を得ながら連携をとっています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	80%	20%		すべての学校とは行えていませんが、必要な連携はとれていると思います。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	80%	20%		受け入れ時に保護者に承諾を得て、連携させていただくことは必要と考えています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	60%	40%		該当ケースがありませんでした。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%	頻度は少ないですが、研修を受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	20%	80%		当事業所の検討事項だと思っていますが、現状、利用者がこれを望まれていないケースが多いです。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	主に管理者が参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	その日の様子を伝えたり、アプリや連絡帳をつかって情報共有をしています。保護者が話しやすい空気づくりを心掛けています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	状況に応じて対応しています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	必要に応じて書面で伝えています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	日々の会話を大切にし、情報共有する機会を作っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	対面で意見を頂ける場面を設け、取り組んでいます。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	相談を受ける機会を作り、事業所全体で共有することで丁寧に対応しています。	より有効な助言や情報提供ができるよう、スタッフの知識・スキルを高めています。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	報告書を作成し、事例の整理と共有を取り組んでいます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	ブログやSNSで療育の様子やその日に行ったメニューの説明を行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	全スタッフで徹底しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	子どもや保護者が安心できる方法を考え、個々に合わせて柔軟に対応しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60%	40%	地域の方と日頃の会話などは積極的に行うようにしています。	地域の方と交流する機会はあまり多くありません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	契約時や保護者会で周知し、社内研修もできています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	有事の際も冷静に対応できるよう、定期的に避難訓練と確認を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	契約時に確認し、定期的に研修を行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	研修を行い、すぐに対応できるように準備をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	その日にあったことをすぐに話をするだけでなく、スタッフ会議でも振り返っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	研修でそれぞれの支援中のできごとなど、これはどうなんだろうと、話し合う機会がつけられています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	研修を行い、周知しています。		